



鹿屋港（古江港）の渡し船と物流倉庫

昔 昭和41年



今



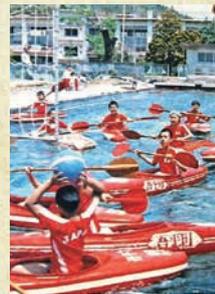
写真に写る渡し船は、鹿児島市内へ運航していた大型船に乗る栈橋までの移動に使われていたものです。奥に写る長い建物は、各地から届く物資の保管などに利用されていた物流倉庫で、鹿屋港を拠点に古江駅から市内各地に物資が搬送されました。港は今も、漁業を中心に船の安全な航行や停泊の役割を果たしています。



全国初のカヌーポロ大会での熱戦

鹿屋市では、毎年日本一の選手が誕生するなど、カヌーのレーシング競技が盛んでした。昭和51年、カヌーの香港選手団が、日本で開催される大会への出場を機に市内を訪れ、市民と交流を深めました。市民からの温かい歓迎のお礼にと、香港選手団からカヌーポロ用の艇一隻が贈られたことがきっかけとなり、カヌーポロが市内で開催される大会が市内で開催され、少年の部で鶴峰小学校が優勝。その後も吾平町内の小学校でカヌーポロがクラブ活動として取り入れられるなど、盛んに行われましたが、競技者の減少とともに消滅。今では当時の写真が選手の輝きを伝えてくれます。

カヌーポロは、ドイツとイギリスが起源といわれるスポーツです。1人ずつカヌーに乗った5人1組のチームが、カヌーを漕ぎながら相手ゴールにボールを投げ入れることから「水上のバスケット」とも呼ばれています。ボールを奪うためにカヌー同士が激しくぶつかり合う、スリルとスピードがその魅力です。



香港遠征に向けて練習に励む鶴峰小の児童
読売新聞 昭和55年6月11日付

かけとなり、カヌーポロが市内で始まりまし。

市内の6人の女性が、カヌーを製作し練習を始めたことから、カヌーポロは市内で普及。日本初の珍しい水上競技を女性だけのチームが楽しんでいると話題となり、その様子が全国に報道されると、カヌーポロは県内外にブームを巻き起こしました。

昭和54年には全国初となるカヌーポロ大会が市内で開催され、少年の部で鶴峰小学校が優勝。その後も吾平町内の小学校でカヌーポロがクラブ活動として取り入れられるなど、盛んに行われましたが、競技者の減少とともに消滅。今では当時の写真が選手の輝きを伝えてくれます。

昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ！

カノヤタイムトラベル

全国が注目した「カヌーポロ」